

## [2017]九州大学情報統括本部年報 : 2017年度

<https://hdl.handle.net/2324/2203028>

---

出版情報 : 九州大学情報統括本部年報. 2017, pp.1-, 2018-10-01. Information Infrastructure Initiative, Kyushu University

バージョン :

権利関係 :



## 第23章 ORCID 加盟検討タスクフォース

### 23.1 国内外の ORCID に関する動向調査及び執行部等への情報共有に関する事項

- (1) ORCID 事務局による広報用の Web ページや ORCID コミュニティーのメーリングリスト、平成 29 年 9 月 29 日に行われた ORCID 学術機関コンソーシアム懇談会出席者へのヒアリングにより、ORCID 並びに ORCID 学術機関コンソーシアム設立に関する情報収集を行った。
- (2) 平成 29 年 12 月 26 日に国立情報学研究所で行われた「ORCID コンソーシアムを考える会～大学・研究機関のコンソーシアム設立に向けて」にメンバー2 名を派遣した。
- (3) 当タスクフォースの設立や活動、ORCID の概要、加盟することで得られる利点、課題、(2) の会で得られた情報を資料にまとめ、平成 30 年 1 月 29 日の大学マネジメント・ミーティングで報告した。

### 23.2 ORCID 学術機関コンソーシアム設立準備委員会への参加に関する事項

- (1) 前項 (2) の会にて、ORCID に既に加盟している学術機関の主導で平成 30 年 4 月に ORCID 学術機関コンソーシアム(以下コンソーシアム)の設立を目指す取組みが開始されることになったため、その取組みが具体化するのを待ったが、平成 30 年 3 月末に至るまでコンソーシアム設立準備委員会やそれに相当する組織は発足せず、参加の是非の検討や委員の派遣は平成 30 年度に延期することとした。
- (2) 前項 (3) の大学マネジメント・ミーティングにて、コンソーシアム参加の検討を積極的に進めるよう執行部からの指示を得た。

### 23.3 学内システム (Pure、学術情報リポジトリ (QIR) 等) と ORCID 間の連携の検討に関する事項

- (1) Pure  
インスティテューショナル・リサーチ (IR) 室との協議により、大学がエルゼビア社と契約して利用中の当該システムにおいて、「Pure」→「ORCID」方向のデータ連携機能が実装されていることが分かった。
- (2) 学術情報リポジトリ (QIR)  
附属図書館との協議により、ORCID 加盟機関が利用可能な Member API を使用することで学術情報リポジトリと ORCID との連携が可能なこと、そのことで九州大学オープンアクセス方針の効果を高めることができると分かった。

### 23.4 その他、ORCID の導入に向けた対応に関する事項

なし